



横浜市情報教育ネットワーク(YI ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 松瀬 歩
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

あけましておめでとうございます

校長 松瀬 歩

2021年の幕開けです。今年は丑年。丑は歩みが遅いことから、先を急がず一步一步着実に物事を進めていくことが大切な年とされています。また、2番目の干支であることから、子年にまいた種が芽を出して成長する時期とされ、結果につながる道をつつとつづくっていく基礎を積み上げていく時期とされています。美しが丘小学校でも、コロナ禍ではありますが、一步一步着実に歩みを進めていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、年末にご家庭にロイロノートの接続確認をお願いしたところですが、今現在、国を挙げてGIGAスクール構想の実現に向けて準備が進められています。GIGAスクール構想の具体的な取組は『校内通信ネットワークの整備』と『児童生徒一人1台端末の整備』です。実は、このGIGAスクール構想ですが、2020年から5か年計画で進められていく予定でしたが、コロナ禍においてオンラインでのコミュニケーション手段の整備を早急に進めなければならなくなった現状を踏まえ、急ピッチで進められています。今年度中には、ネットワーク環境と一人1台の端末の整備が終了し、来年度から運用される予定です。

GIGAスクール構想が進められている背景には次のような社会的な背景や学校が抱えた課題があります。

社会的な背景	学校が抱えた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・社会構造の変化・急速な情報化・国際化 ・ICT機器の活用の日常化 ・新学習指導要領（主体的・対話的で・深い学び） ・自然災害や感染症等の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の増加 ・様々な障害への対応 ・日本語指導が必要な児童の増加 ・子どもの貧困

これらの現状を踏まえ、ICT機器を活用した具体的な取組として次のようなことが挙げられています。

◎個に応じた学習課題の提供

◎病気、不登校等の長期欠席者とのコミュニケーションツールとしての活用

◎災害、感染症等による休校措置中のオンライン授業での活用

◎授業における教師と子ども、子ども同士のコミュニケーションツールとしての活用

これについては、先月、他校の6年生の授業実践を見る機会がありました。授業中の課題に対して子どもたちは自分の考えを個々のタブレットに記入し、それが教師のもつタブレットに集約されます。教師は子どもの学習の進み具合を確認したり、おもしろい気付きをしている子どもを意図的に指名したりして授業をコーディネートしていました。また、子ども同士も友達の意見をタブレットを通して確認することができるので、たくさんの考えに触れることができ、発表が苦手な児童も授業に参加した満足感を得ることができま。そして、タブレットはネットにつながっているので、机を離れないで調べ学習ができる利点もあります。その一方、ネットの情報量が多いのでなかなか欲しい情報にたどり着けないことや低学年がコミュニケーションツールとして活用するには難しい等の課題もいくつかありました。

他にも様々な活用が考えられています。今後、実践を重ね、長所、短所を明らかにしながら、新しい学びを創造していきたいと思えます。ご家庭にもご協力いただくことも多々出てくるかと思えますが、よろしくお願いいたします。